

JENESYS2018 ASEAN 招へいプログラム第3陣の記録

政治・鉄道関係者交流 対象国：マレーシア

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、マレーシアより鉄道関係者等 20 名が 2018 年 9 月 25 日～10 月 2 日の日程で来日しました。

一行は「政治・鉄道関係者交流」をテーマに、東京都、埼玉県、宮城県を訪問し、日本理解講義やテーマ関連講義の聴講、鉄道関係施設等の視察や、関係者との意見交換を行いました。また、一行は、ホームステイ及び関係者や地域の人々との交流会を通じて、日本人や日本についての理解を深め、友情を育みました。帰国前の報告会では、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行うこと、及び訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について、発表しました。

【参加国・人数】マレーシア 20 名

【訪問地】東京都、埼玉県、宮城県

2. 日程

9月25日（火） 来日、【オリエンテーション】

9月26日（水）【日本理解講義の聴講】

講師：国土交通省 鉄道局 国際課国際事業推進室 主査 古橋 隆昭 氏

【テーマ関連の視察・体験】鉄道博物館、新幹線「こまち」乗車
東京都から宮城県へ移動

9月27日（木）【テーマ関連の視察】JR東日本新幹線総合車両センター

【テーマ関連講義の聴講】

講師：国土交通省 東北運輸局 鉄道部次長 大水 直樹 氏

9月28日（金）【文化体験】伝統工芸・こけし作り 於：秋保工芸の里 玩愚庵こけし屋、

【テーマ関連の視察】株式会社日立ソリューションズ東日本

【ホームステイ】於：宮城県加美町

9月29日（土）【ホームステイ】

9月30日（日）【ホームステイ】、【地域住民・関係者との歓送会】

【文化体験】和太鼓、【ワークショップ（報告会準備）】

【テーマ関連の体験】新幹線「こまち」乗車

宮城県から東京都へ移動

10月1日（月）【視察】国際機関 日本ASEANセンター、

【最先端技術視察】警視庁 交通管制センター

【成果報告会】、【テーマ関連の体験】ゆりかもめ乗車

10月2日（火） 帰国

3. プログラム記録写真

	
<p>9月26日【日本理解講義の聴講】</p>	<p>9月26日【テーマ関連の視察】鉄道博物館</p>
	
<p>9月27日【テーマ関連の視察】 JR東日本新幹線総合車両センター</p>	<p>9月27日【テーマ関連講義の聴講】</p>
	
<p>9月28日【文化体験】伝統工芸・こけし作り</p>	<p>9月28日【テーマ関連の視察】 (株)日立ソリューションズ東日本</p>
	
<p>9月29日【ホームステイ】加美町</p>	<p>9月30日【地域住民・関係者との歓送会】</p>

	
<p>9月30日 【ワークショップ（報告会準備）】</p>	<p>9月30日【文化体験】和太鼓</p>
	
<p>10月1日【視察】 国際機関 日本 ASEAN センター</p>	<p>10月1日【視察】 警視庁 交通管制センター</p>
	
<p>10月1日【成果報告会】</p>	

4. 参加者の感想（抜粋）

マレーシア鉄道関係者

プログラム中に受けた講義は大変内容豊富で、普通の人知らないこと、知らされないようなことを学ぶことができました。日本の交通や製造業について多くのことを学ぶことができ充実した時間でした。日本の企業や工場ではタイミング良く、かつ実情に適した仕事のやり方をされていて、この方法は仕事の効率を向上させるためにマレーシアでも取り入れることができると思います。ホストファミリーの皆さんはとてもフレンドリーで礼儀正しく、一生忘れられない思い出を作ることができました。

マレーシア報道関係者

講義によって多くの情報を得ることができました。特に日本の技術や新幹線など、今回

のプログラムのテーマに関わる様々な事項について十分に理解することができました。企業訪問では詳細な説明を受けることができ、理解を深めることができました。新幹線の構成、部品、装置などについても多くを学ぶことができました。ホームステイは私たち訪日団にとって日本の文化や生活スタイルについて学ぶ良い機会となりました。国交省の講義は私たちにとって貴重な情報を得ることできた大変すばらしい時間となりました。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

ホストファミリー

今回は日本語を話せる方がいたので、3日間タブレットを使うことなく楽しく過ごしました。料理、抹茶、着付け、陶芸、日本の餅定食、パークゴルフ、ショッピング等と忙しいスケジュールでしたが、マレーシアの方々は満足のような様子でした。私たちも娘のように接し、別れに泣きました。「ネクスト アゲイン（また会いましょう）」とお別れしました。




受入れ機関関係者

帰国後既に、マレーシアの皆さんが、今回の鉄道関係の視察について多くを学び、たくさん SNS 発信をして頂いているようで、嬉しく思います。

6. 参加者の対外発信

 <p>28 Sept 2018. Day-4 of #JENESYS2018. 1) Akyu craft center. All participants had the opportunities to paint their own Kokeshi dolls, a wooden-doll which come in different sizes and characters. 2) Lecture at Hitachi Solutions East (HSE) Japan which highlighted on the technology use in railway services including their machines and applications.</p> <p>#JENESYS2018 #JICE #MALAYSIA #JAPAN</p>	<p>JENESYS 2018, DAY 2: My Shinkansen Experience</p> 
<p>(仙台市)秋保工芸の里で、大小さまざまなこけしにオリジナルの絵付けをしました。日立ソリューションズ東日本では、鉄道運営に導入された技術や機器について講義がありました。</p>	<p>JENESYS2018 来日2日目 私の新幹線体験について</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

 <p>Our Action Plan</p> <p>WHAT : (What are you planning on doing?)</p> <p>HOW : (How will you implement your plan?)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ Create social media template (FB, email, Instagram, Twitter, newspaper, flyers, etc). ➢ Publish in State Journal. ➢ Educate respective organizations and educating community about benefits of using public transportation. ➢ We will plan our government servant come to learn the Japanese administration. Special programs focusing the Japanese prefecture administration. (Seminars/ Courses) 	<p>(政府関係者の発表)</p> <p>訪日経験を活かした計画は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FB、Eメール、インスタグラム、ツイッター、新聞、広告等、SNSでの発信を実施します ・国のジャーナル(新聞等)に投稿します ・関係者に、公共交通機関の利便性、関連教育を実施します ・日本の行政についての研修を実施します
<p>ACTION PLAN: WHAT and WHEN?</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ News feature – first article is expected to be published by end of October ➢ Website – constantly being updated during our stay ➢ TV Show – Thursday, October 11, 2018 to be aired in TV3 Malaysia at 8.00 pm 	<p>(メディア関係者等の発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所属先ニュースで、10月末日までに鉄道の魅力を含め、訪日経験のWEB記事を掲載します ・ホームページに、来日中の記事を掲載します ・マレーシアのテレビ番組(TVチャンネル3)にて、10月11日(木)8時PMに日本事情を報道します
<p>People-to-people Interaction</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪Promote to public : <ul style="list-style-type: none"> ▪Bunkasai event in UPM ▪Japan Day in UM □Department presentation ○Promote to friends and family <ul style="list-style-type: none"> □Class sharing activities □During Japanese-related events in universities 	<p>(大学生等の発表)</p> <p>人的交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学での文化祭、大学での日本デー等で日本とマレーシアの交流を推進します ・プレゼンテーションについて、所属先の学部、クラス、日本関連イベント等で訪日経験を発表します